

令和7年度市政運営の概要について



令和7年10月13日（月・祝）
令和7年度タウンミーティング資料

市の事業展開について

基本構想
【8年間】

具体化

基本計画
【4年間】

具体化

実行計画
【毎年度策定】

第2次滝沢市総合計画 基本構想【令和6年度～令和13年度】
市の将来像を「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」として掲げ、
その実現に向けて計画期間内に社会的包摂性の高い地域環境
「やさしさに包まれた滝沢」の創出を目指す

第2次滝沢市総合計画 前期基本計画市域全体計画
【令和6年度～令和9年度】
「市民主体の地域づくり活動への支援と市民生活の基盤の堅持」

- 7つの部門（市民環境・健康こども・福祉・経済産業・都市整備・教育文化・政策支援）
- 5つの重要な視点（つながる滝沢・こどもまんなか滝沢・いきいき滝沢・まなぶ滝沢・はたらく滝沢）
- 2つの展開手法（若者の活躍推進・魅力ある情報の発信）

- （令和7年度実行計画では・・・）
- 5つの重要な視点に基づく重点事業（15事業）も含め全324事業を掲載
 - 各事業の意図、令和7年度実施概要、令和10年度までの活動指標・投資指標を記載



※第2次滝沢市総合計画(基本構想・基本計画)のほか、令和7年度実行計画(全189ページ)は市ホームページに掲載しています。

令和7年度 滝沢市当初予算規模

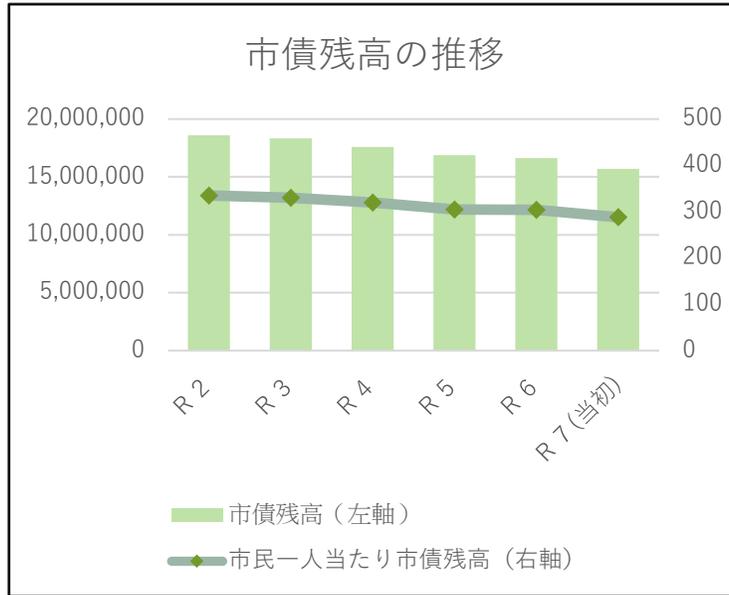
(単位：千円、%)

会計区分		本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率
一般会計		22,252,000	20,500,000	1,752,000	8.5%
特別会計	国民健康保険特別会計	4,503,295	4,450,543	52,752	1.2%
	後期高齢者医療特別会計	637,887	579,928	57,959	10.0%
	介護保険特別会計	4,522,978	4,414,945	108,033	2.4%
	介護保険介護サービス事業特別会計	6,657	6,083	574	9.4%
	小計	9,670,817	9,451,499	219,318	2.3%
企業会計	水道事業会計	1,728,161	1,636,141	92,020	5.6%
	下水道事業会計	1,746,809	1,628,665	118,144	7.3%
	小計	3,474,970	3,264,806	210,164	6.4%
総額		35,397,787	33,216,305	2,181,482	6.6%

市債残高と基金残高の推移

市債（市の借入） 残高の推移

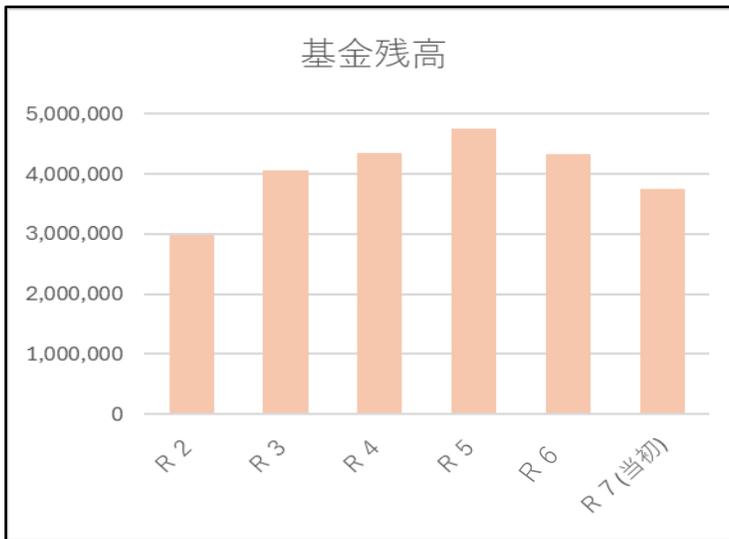
市債残高及び市民一人当たりの市債残高は減少傾向にあります。



年度末	市債残高 (千円)	市民一人当たり市債残高(千円)
R 2	18,602,019	335
R 3	18,316,041	330
R 4	17,594,829	320
R 5	16,879,369	305
R 6	16,304,963	298
R 7(当初)	15,695,489	288

市基金（市の貯金） 残高の推移

令和5年度をピークに減少することが見込まれています。



年度末	基金残高 (千円)
R 2	2,968,459
R 3	4,060,805
R 4	4,348,784
R 5	4,760,578
R 6	4,244,401
R 7(当初)	3,666,412

5つの重要な視点



つながる滝沢

家族や周囲の仲間、地域で共に活動する人のほか、多様なかかわり合いの中で信頼関係を築きながら人と人とのつながりの構築を進めます。

こどもまんなか滝沢

次代を担う子ども達が笑顔で健やかに暮らすことができるように、子育てをみんなで助け合いながら、家庭や地域が一体となって子どもの成長を後押しする地域環境の創出を目指します。

いきいき滝沢

子どもから高齢者まで、また障がいのある方もない方もそれぞれが共に支え合い、健やかに安心して暮らせる取組を進めるとともに、生きがいややりがいを持てる環境づくりを進めます。

まなぶ滝沢

リカレント教育などの高等教育機関の専門的な知見を生かした学びの機会の創出を進めるとともに、市民の皆さんの学びにつながる環境づくりを進めます。

はたらく滝沢

高等教育機関が立地している本市の特徴を生かしながら、市内に働く場を創出するための取組を進め、市民の皆さんが自分らしく働くことができる環境づくりを進めます。

1 就任以降の新規取組

①自治会活動、地域づくり活動に対する財政支援を拡充



②災害対策を拡充したほか、懸案であった消防署整備に着手。また、避難所への電源設備を整備



③タウンミーティング、自分ごと化会議の開催、市ホームページのリニューアルなど市民の声を聴くチャンネルの再編

④お悔みハンドブックの作成・配布

2 令和7年度重点事業

①滝沢地域づくり活動推進補助事業（2,990千円）

【事業概要】市民主体の地域づくり計画である「地域別計画」の推進と具現化を図るため、市内11の地域づくり懇談会等、地域で活動する団体が主体となって実施する地域づくり活動を支援します。

（令和7年度の具体的な取組）
地域別計画に定める地域の課題解決及び幸せづくりを目的とした「地域の魅力を伝える事業」「世代間交流につながる事業」「環境美化活動事業」など、市内11の地域づくり懇談会等が実施する市民主体の地域づくり活動に対し補助金を交付

②中心拠点商業地区開発事業（10,619千円）

【事業概要】市の中心拠点地域における新たな雇用の創出、更なる賑わいや市民の交流の拠点化を推進するため、現在民間開発により進められている商業地の整備に対する支援を行います。

（令和7年度の具体的な取組）
○開発地域内の市が支援する河川の切回し並びに歩道工事完了に伴う用地の測量、購入及び売払い
○連携した事業促進を図るための開発事業者との定期的な工程会議の実施
○商業施設等のオープンに向けた市民への周知

③若者活躍の場づくり推進事業（7,100千円）

【事業概要】若者が活躍できる環境づくりの推進や、若者との連携・交流による地域内の人材定着、Uターン人材の確保を目指した取組を進めます。

（令和7年度の具体的な取組）
○社会参加活動に取り組む若者を応援する補助制度の新設【新規】
○移住定住を促進するための取組
○地域おこし協力隊等様々な分野で活躍する若い人材と連携した取組の実施
○市にゆかりがある若者との交流会の開催及び若者とのネットワークの構築

1 就任以降の新規取組

① 3歳児健診での眼科屈折検査の導入

② 保育への支援の拡充

③ 医療費助成の対象年齢を高校生まで拡充（R5）、所得制限の撤廃（R6）

④ 子どもの放課後の居場所づくりの推進

⑤ 全国的にも実施例が少ない5歳児健診を実施



⑥ 医学的ケア児や重症心身障害児の通学などの支援を実施

2 令和7年度重点事業

① 妊産婦保健事業（3,918千円）

（令和7年度の具体的な取組）

- 産後ケア事業（市直営デイサービス型を新たに実施、そのほか委託型のデイサービスや訪問等による母の心身のケアと育児相談等の実施）【新規】
- 産前産後サポート事業（お話サロンや運動、歯の健康、乳房ケアの講話等の実施）
- 両親学級（出産・子育て準備についての講話や妊婦体験、沐浴実習を実施）

② 乳幼児保健事業（21,714千円）

（令和7年度の具体的な取組）

- 就学前に安心して育ちの相談ができる体制を整えるため、新たに5歳児健康診査を実施【新規】
- 乳児（1～2か月児、3～4か月児、6～7か月児、9～10か月児）、1歳児、1歳6か月児、3歳児健康診査の実施
- 1歳児歯科、2歳児歯科健康診査の実施、新生児聴覚検査への公費補助

③ 子ども医療費給付事業（168,634千円）

（令和7年度の具体的な取組）

- 令和6年度に実施した「全対象者における資格認定に係る所得制限の撤廃」及び「高校生等までの対象者の拡大」を令和7年度も継続し、医療費給付を実施
- 受給資格対象者（0歳～高校生等までの子）に、一定の基準額を超えた医療費を給付（※要件によっては、受給者負担なし）

【事業概要】子育て家庭に対して、必要となる医療費の一部（※要件によってはその全部）を給付することにより、経済的負担を軽減します。

1 就任以降の新規取組

①障がいを持つ方等への支援を拡大

②認知症対策に取り組むNPO法人や、市民ボランティア団体への支援を拡充



③県内でも先行し、重層的支援体制※を整備

④骨髄ドナーへの支援を実施

⑤重度心身障がい者、妊産婦、ひとり親家庭医療費給付事業の所得制限の撤廃

※各分野の福祉サービスを連携し、対象者をケアする制度

2 令和7年度重点事業

①重層的支援体制整備事業（133,173千円）

【事業概要】介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮の既存の取組を活かしつつ、制度の狭間を埋める包括的な相談支援の体制を整備し、地域共生社会に向けた地域づくりを推進します。

（令和7年度の具体的な取組）

- 包括的な相談支援の体制整備
- 他分野につなぐ多機関協働事業の構築
- 地域共生社会の構築を目的とする地域づくりに向けた支援の検討（世代等を問わず交流できる場等）
- 生活困窮者自立支援事業、地域介護予防活動支援事業等の実施

②各種医療費給付事業（142,949千円）

【事業概要】重度心身障がい者、妊産婦、ひとり親家庭に対し、必要となる医療費の一部（※要件によってはその全部）を給付することにより、経済的負担を軽減します。

（令和7年度の具体的な取組）

- 「重度心身障がい者医療費給付」、「妊産婦医療費給付」、「ひとり親家庭医療費給付」について、令和7年度から新たに補助対象要件を緩和（資格認定時における所得制限の撤廃）した上で医療費給付を実施【拡充】

③がん検診事業（96,514千円）

【事業概要】がん検診を実施することにより、がんの早期発見と早期治療につなげ、がんによる死亡者数の減少を目指します。

（令和7年度の具体的な取組）

- がん患者等支援を目的とした胸部補整具及び骨髄ドナーの助成の新規実施【新規】
- 各種がん検診等（肺がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん及び骨粗しょう症予防検診）の実施

1 就任以降の新規取組

①盛岡大学・盛岡大学短期大学部と連携し、リカレント教育セミナーをスタート

②学校教育環境の充実のためスクールサポートスタッフを配置



③学校給食費の保護者負担の軽減を実施

④学校校舎等の改修の確実な実施

⑤将来を担う大学生など若い世代への投資的事業を実施

⑥残すべき伝統芸能や文化財への支援を強化

2 令和7年度重点事業

①大学未来共創事業（11,473千円）

【事業概要】市内に2つの大学が立地する特徴を生かし、若者が自己実現のため様々な分野で活躍できるよう、若者世代の活動に必要な支援を行い、学生を始めとした若者に対する人材育成を推進します。

（令和7年度の具体的な取組）
○主体的に活動する学生の育成及び新たな取組を行う若者への伴走支援【新規】
○大学や学生との連携による若者が活躍する機会の創出
○地域と学生・学生同士の交流につながるプロジェクトの推進
○大学や高校等の事業や実習への参加及び協力

②小中学校校舎等改修事業（259,384千円）

【事業概要】子ども達の学びの環境の充実を図るため、校舎等の老朽化対策や設備の改修などを行い、児童生徒が安全安心に学習できる環境の整備を行います。

（令和7年度の具体的な取組）
○屋内運動場改修工事（一本木小）【繰越事業】
○放送設備改修工事（一本木小、一本木中）【新規】
○高圧受変電関連設備更新工事（篠木小）【新規】
○プール改修工事（滝沢東小）【新規】

③リカレント教育推進事業（437千円）

【事業概要】生涯学習推進計画（学びプランたきざわ）に基づき、大学や関係機関など多様な主体と連携・協働したリカレント教育を視野に入れ、「郷土を愛し未来を切り拓く力に満ちた人づくり」を目指します。

（令和7年度の具体的な取組）
○リカレント教育の推進及び大学や関係機関など多様な主体と連携した講座等の開催
○大学との連携によるSDGsセミナーの開催やテーマ別セミナーの検討

1 就任以降の新規取組

①地域活性化起業人制度の活用を開始

②県立大学とイノベーションパークと市内中小企業との連携事業をスタート、イノベーションセンター拡張に向けた準備



③農地中間管理事業の推進

④農産物地域ブランド化の推進のためのPR展開

⑤農業振興に資するメンター制度の導入やライスセンター建設に向けた支援の実施



2 令和7年度重点事業

①産業人材育成事業（12,420千円）

【事業概要】市内企業への就職支援や起業支援をはじめ、将来のIT人材の育成や大学と企業との交流のため、子どもから社会人を対象に人材育成の取組を実施することにより、地域内への人材定着やUターン人材の雇用拡大及び起業を促進します。

（令和7年度の具体的な取組）
○市内中小企業のIT課題解決及びIT産業人材の育成
○産学官連携による企業の経営基盤強化及び地域中小企業の産業人材の育成
○市内企業への就職支援や企業支援、セミナーの実施
○地域特性を生かしたIT産業を担う人材育成事業の実施
○地域活性化起業人による教育機関、商工会及び市内企業等と連携した人材育成

②ICT産業集積拠点整備事業（34,000千円）

【事業概要】地域産業の振興、雇用の拡大及びIT人材の育成を目的とし、岩手県立大学周辺地域にICT産業等の集積を図るため、新たな産業用地の整備を進めます。

（令和7年度の具体的な取組）
○事業構想の実現に向けた基本設計の実施【新規】
○新たな産業用地取得に向けた関係機関との協議及び手続
○整備手法についての情報収集及び検討
○ICT産業集積拠点への企業誘致活動の実施

③農業担い手育成対策事業（43,556千円）

【事業概要】持続可能な農業の推進のため、多種多様な経営体に対して総合的な農業経営の支援・指導を行うとともに、児童生徒への農業体験・講話等の実施を通して、次世代の担い手育成を図ります。

（令和7年度の具体的な取組）
○新規就農促進のため全国に向けたPR活動の展開
○新規就農希望者の入口支援としてメンター紹介事業の推進
○新規就農者の定着支援のための各種補助事業の活用
○児童生徒への農業体験及び講話の実施
○地域計画の実践支援・多種多様な経営体への総合的支援
○地域おこし協力隊の活動による地域の活性化の推進

その他の取組

就任以降の新規取組

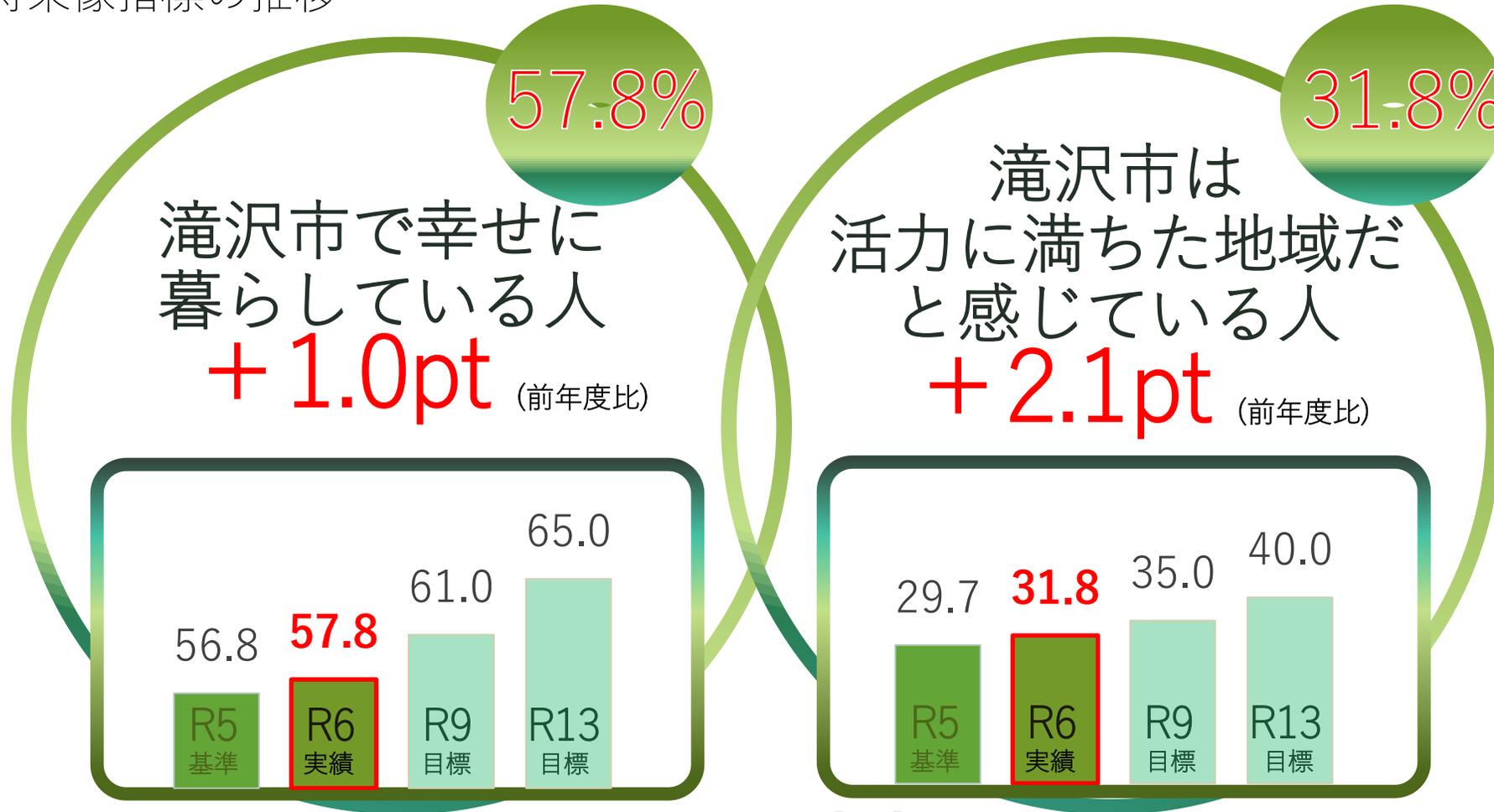
- ①地域医療の充実に向けた取組
市民アンケート調査や市内医療機関との意見交換の実施
- ②市政課題の解決に向けた取組
従来行っていた県に対する要望に加え、市単独による国の省庁への単独要望を実施
- ③SDGsの推進
第2次滝沢市総合計画にSDGs達成に向けた取組を体系化
- ④ITを活用した行政サービスの向上
マイナンバーカードによる多様なサービスの展開、オンライン税申告環境を構築
- ⑤市職員の働きやすい環境づくり
ハラスメントに関する実態調査の実施と、対策の強化
- ⑥市税等の督促手数料の廃止
市民の負担軽減と利便性向上のため、督促手数料（100円）を廃止
- ⑦市役所庁舎の改修
建設から約50年が経過し、老朽化が著しい市役所庁舎の改修に着手
- ⑧ごみ減量化への取組
ごみ減量化へ向けたごみ回収サービスを拡充



市政展開の進捗を測定する指標の推移

総合計画に掲げる「滝沢市の将来像」…誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域

【代表例】 将来像指標の推移



【出典】

R6たきざわ幸福実感アンケート調査における「滝沢市での暮らしは幸せですか」の質問に「幸せ」又は「やや幸せ」と答えた人の割合の合計

【出典】

R6たきざわ幸福実感アンケート調査における「滝沢市は活力に満ちた市だと感じていますか」の質問に「はい」と答えた人の割合

市政運営に当たって私が考えていること

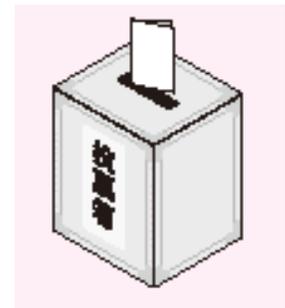
市民主体の地域づくりを進めるため
市民の皆さんに期待すること



滝沢市の職員に期待すること
(日頃、職員に伝えていること)



みんなで地域をより良くするために
～投票率向上への思い～





ちゃんぽん

ご清聴ありがとうございました。

〒020-0692
岩手県滝沢市中鶴飼55番地
滝沢市
電話 019-656-6561 (直通)
FAX 019-684-1517
メール
kikaku@city.takizawa.iwate.jp